令和８年建築設備士試験「第二次試験」（設計製図）

答　案　用　紙

次の**注意事項**をよく読んでから始めて下さい。

［**注意事項**］

1．答案用紙は、**合図があるまでこの面以外の面を開けてはいけません。**

2．**答案用紙**は、次の**３枚**の構成となっています。
- 建築設備基本計画（必須）　：「答案用紙1」として**Ａ３判１枚**で、解答欄が示されています。
- 建築設備基本設計製図（共通）：「答案用紙2」として**Ａ２判１枚**で、解答欄が示されています。
- 建築設備基本設計製図（選択）：「答案用紙３Ａ空調・換気設備（選択問題）」、「答案用紙３Ｂ給排水衛生設備（選択問題）」及び「答案用紙３Ｃ電気設備（選択問題）」として**Ａ２判を二つ折りにしたもの（Ａ３判の大きさ）１枚**で、それぞれ解答欄が示されています。

3．この表紙、答案用紙１及び答案用紙２の「受験番号及び氏名」欄の全て（計３か所）を記入して下さい。

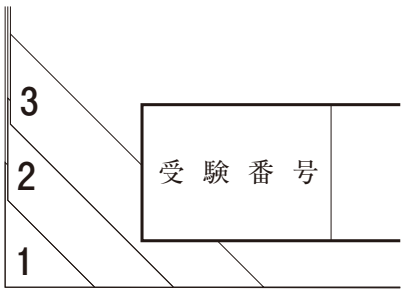
4．建築設備基本設計製図（選択）の解答に当たっては、この答案用紙を裏返すなどをして、**Ａ３判の大きさ**に折ったうえで**選択する設備（空調・換気設備、給排水衛生設備又は電気設備）の答案用紙を表面**にして使用するようにして下さい。

5．この表紙の右下の選択欄に、建築設備基本設計製図で選択する区分の**記号**（Ａ～Ｃ）を記入して下さい。
　Ａ：空調・換気設備
　Ｂ：給排水衛生設備
　Ｃ：電　気　設　備

6．答案用紙３Ａ～３Ｃのうち選択をしない答案用紙は、下書き、計算等に使用しても差し支えありません。

7．答案用紙（計３枚）は、**全て退席の際に回収**しますので、**絶対に持ち帰らないで下さい。**

8．答案用紙を提出する際には、配布したときと同じように、左下の数字（1、2、3）が見えるようにして下さい。（答案用紙１を答案用紙２に挟み込んだものを、この答案用紙に挟み込んで下さい。）



建築設備基本設計製図で選択する区分の
記号（Ａ～Ｃ）を選択欄に記入すること。
区分の記号　**Ａ**：空調・換気設備
　　Ｂ：給排水衛生設備
　　Ｃ：電　気　設　備

受験番号					—						氏　名		選　択　欄	

令和８年建築設備士試験「第二次試験」（設計製図）

×

答案用紙１

×

基本計画（必須問題）

第　1　問　※

第　2　問　※

第　3　問　※

外気導入量	
外気取入れ口	

第　4　問　※

問題点	防止対策

第　5　問　※

スプリンクラーヘッド	
補助散水栓	

第　6　問　※

第　7　問　※

第　8　問　※

第　9　問　※

通路誘導灯	
避難口誘導灯	設置の必要がない箇所に該当する全ての数字の下のチェック欄にレ点(☑)を記入せよ。 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

第　10　問　※

受雷部	
引下げ導線	

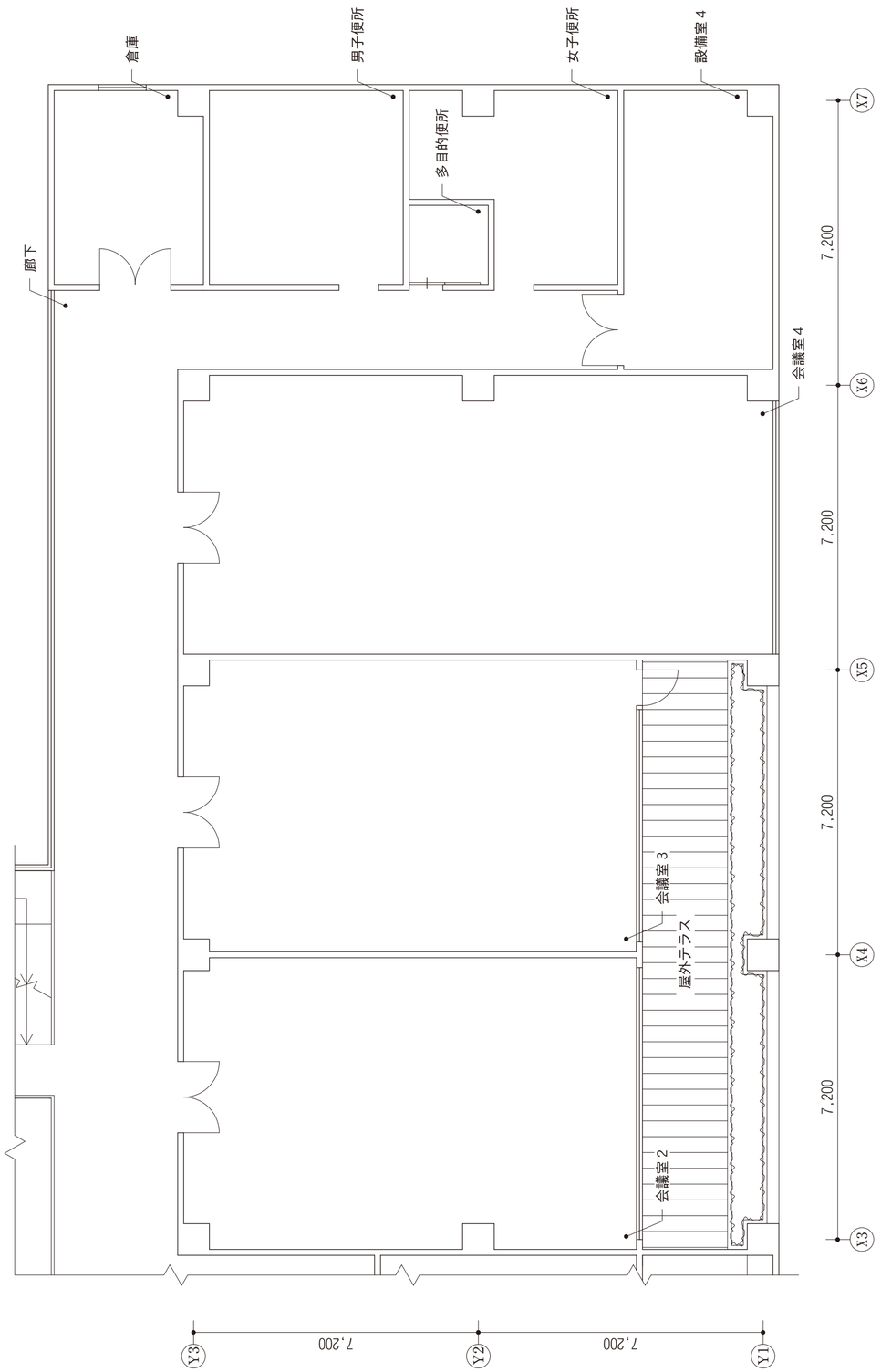
第　11　問　※

空調熱源設備室	
給水設備室	
受変電設備室	

受験番号					—						氏名		※第１問から第11問の ※ 内には記入しないこと。

1

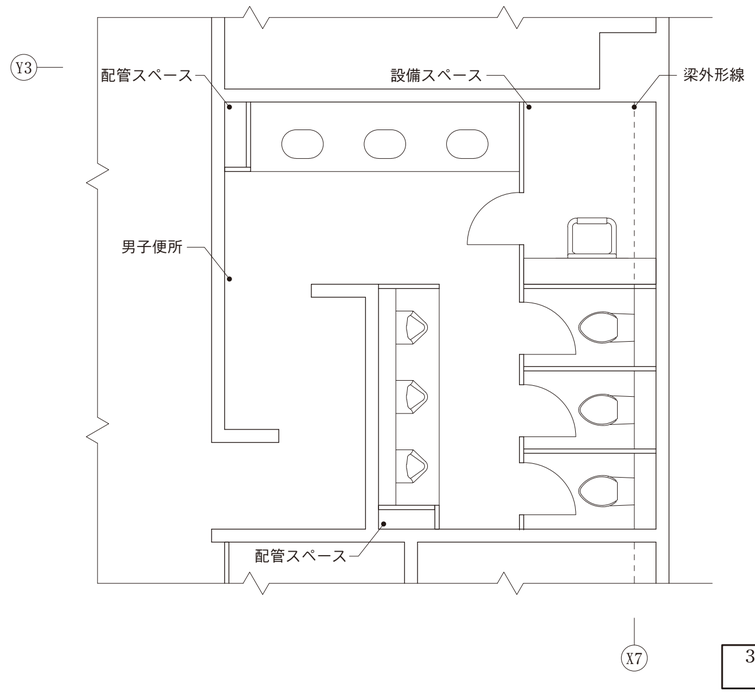
第１問



３階会議室等平面図
縮尺 1：100

受験番号		氏名	

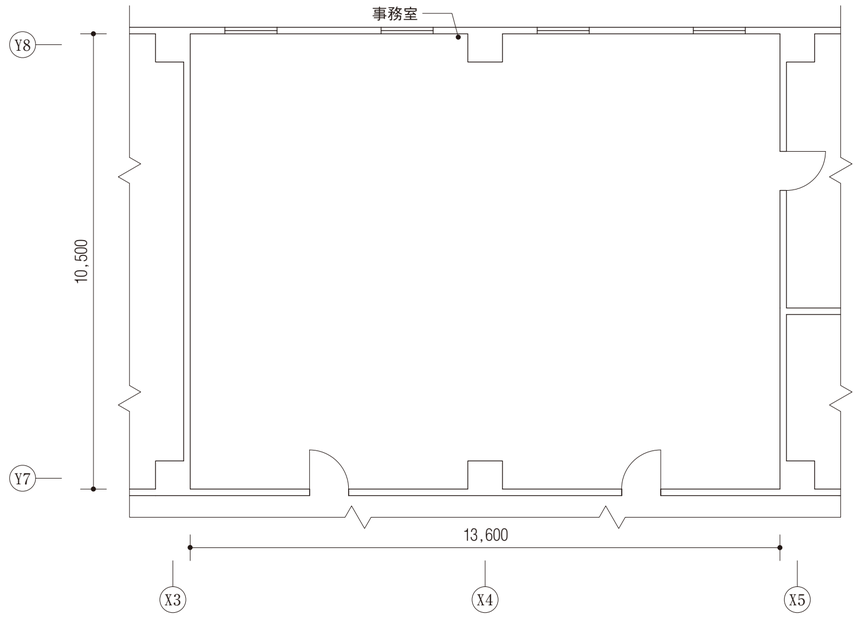
第２問



３階男子便所平面図
縮尺 1：50

第３問

	室指数	照明率	照明器具の設計台数
			台
算定根拠			



１階事務室平面図
縮尺 1：100

右欄には記入しないこと。	1	2	3

第４問　※ 外調機の能力表の算定結果は、小数点第一位まで解答すること。

		算定結果	算定根拠
(1) 外調機の能力表	冷却コイルの入口空気の比エンタルピー	kJ/kg(DA)	
	冷却コイルの冷却能力	kW	
	冷水量	L/min	

	算定結果	算定根拠
(1) ファンコイルユニットの必要最少台数	台	
(2) 必要換気回数	回/h	
(3) 敷地境界点における騒音値	dB	

第５問　**系統図**

▽ 屋上 2

［北系統］
空・外調機

［南系統］
空・外調機

▽ 1 ～ 6 階

▽ 地階

右欄には記入しないこと。	N	4	5

令和8年建築設備士試験「第二次試験」（設計製図）

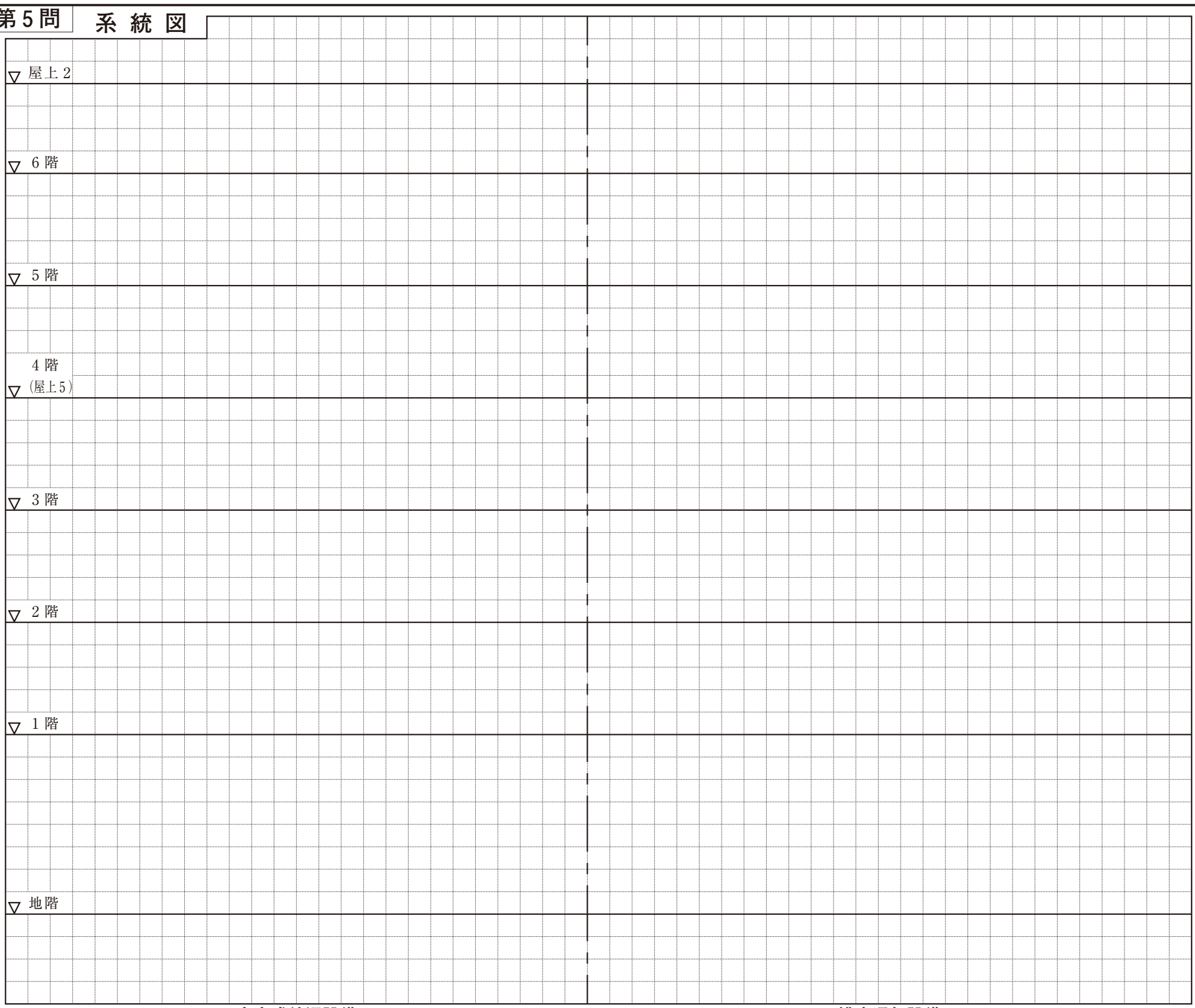
×

答案用紙3B×（「B：給排水衛生設備」選択問題）

第4問　機器表

機器名	仕様		算定根拠
飲料水給水ポンプユニット	ポンプ1台当たりの吐出量	L/(min･台)	
	全揚程	m	
	ポンプ1台当たりの電動機の定格出力	kW/台	
貯湯槽	1台当たりの有効容量	m^3/台	
	1台当たりの加熱量	kW/台	
循環ろ過装置	循環湯量	L/h	
循環ろ過水加熱用熱交換器	加熱能力	kW	

第5問　系統図



中央式給湯設備　　排水通気設備

右欄には記入しないこと。	N	4	5

第4問

	区分	機器	容量・台数等				算定根拠
(1) 機器表	受変電設備	主遮断器	定格遮断電流			kA	
		変圧器	用途	相数	定格容量(kVA)	台数(台)	
		変流器	定格一次電流			A	
		高圧進相コンデンサ・直列リアクトル	力率改善に必要な無効電力			kvar	
			周波数(Hz)	高圧進相コンデンサ 定格設備容量(kvar)	高圧進相コンデンサ 定格容量(kvar)	直列リアクトル 定格容量(kvar) / 台数(台)	(高圧進相コンデンサの定格容量)
							(直列リアクトルの定格容量)
	非常用自家発電設備	発電装置	液体燃料の必要量			L	
	直流電源装置	鉛蓄電池(MSE形)	定格容量(10時間率)			Ah	
		整流装置	定格直流電流			A	

	算定結果	算定根拠
(2) 短絡電流	kA	
(3) テレビ端子の出力電圧	dBμV	

第5問　単線結線図

右欄には記入しないこと。	N	4	5